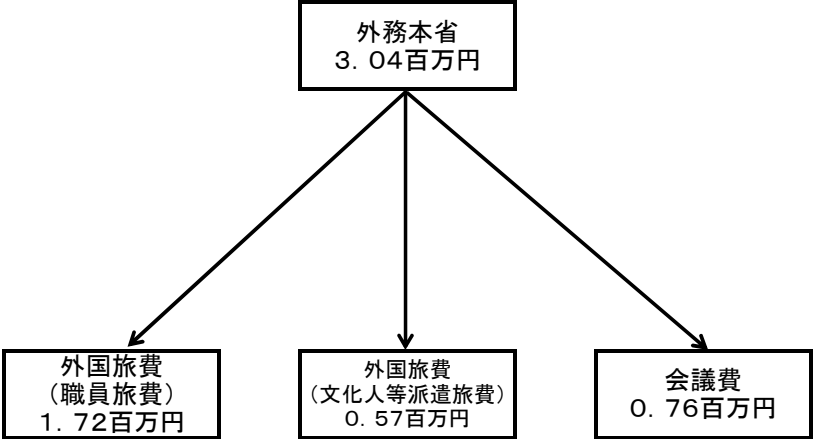


平成25年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	中東アラブ連盟との対話強化			担当部局庁	中東アフリカ局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度			担当課室	中東第一課			課長 長岡 寛介	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-5-2 中東諸国との関係の強化				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第二・三項			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日・アラブ連盟間の政治対話・文化協力の面により恒常的な連携の深化及び、アラブ連盟に所属する各国やマグレブ諸国との対話強化。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アラブ連盟事務局及びマグレブ諸国との中東和平問題やシリア問題等中東地域情勢に関する協議。外部有識者によるマグレブ諸国の政情実態調査。								
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	—	—	—	3			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	—	—	—	3			
	執行額		—	—	—				
	執行率(%)		—	—	—				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	日本とアラブ連盟及びマグレブ諸国との連携強化 アラブ連盟及びマグレブ諸国との協議回数			成果実績		—	—	3	2
				達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	アラブ連盟及びマグレブ諸国と、中東和平問題やシリア問題等中東地域情勢に関する協議を行うため等の出張回数			活動実績 (当初見込み)		—	—	2	—
							(3)	(3)	
単位当たりコスト	1(百万円/3会合)			算出根拠	予算額/会合予定回数				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	その他		3						
	計		3						

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	シリア問題を始めとする中東情勢は国民の関心も高く、また、我が国のエネルギー政策にとっても重要な地域である中東の平和と安全に向けた本事業は、国として、積極的に実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			－	現時点においては未執行であるが、例えば、航空券の調達においては、見積もり合わせ等により、可能な限り廉価な調達を図る等、コストの削減に努める。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			－		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			－		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			－		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			－		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			－		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			－		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			－		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果						
	予算の執行に当たっては単位当たりのコストの削減に努めつつ執行していく。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年		平成24年	新25-30

現時点でのイメージ

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



個別事業名： 中東アラブ連盟との対話強化

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名： 中東アラブ連盟との対話強化

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

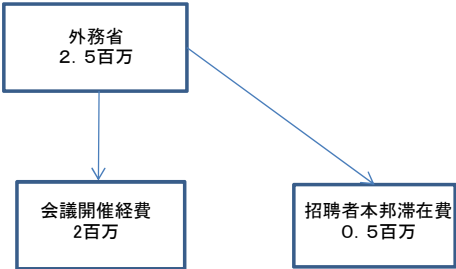
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成25年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	サウジアラビアとの政策対話セミナー			担当部局庁	中東アフリカ局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度			担当課室	中東第二課			課長 向 健一郎	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-5-2 中東諸国との関係の強化				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第二・三項			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	サウジアラビアが益々その重要性を深めている中、我が国として同国と引き続き重層的な関係の構築に努めていく必要がある。重層的な関係を中長期的に更に強化・深化していくために、従来からの政府レベルでの協議・対話とは別に、未来志向で諸々の分野におけるあるべき両国関係や二国間協力について率直に議論する政策セミナーを開催し、サウジアラビアのニーズや考え方を把握する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	政府の役職にはついていない若手王族や、若手財閥関係者・知識人をはじめとした若年層を関与させて、日サウジアラビア関係の強化・重層化を率直に議論するセミナーを開催することによって、あるべき両国関係や二国間協力についてのニーズや若年層の未来志向の考え方を把握する。セミナーを通じて両国の若年層の参加者が交流を通じて相互理解を深めることも期待される。かかるセミナーの開催は、平成25年に安倍総理がサウジアラビアを訪問した際にサウジアラビア側と合意した、人的交流、知的対話の強化に資するところ大であり、総理のサウジアラビア訪問のフォローアップとしても位置づけられる。								
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	—	—	—	3			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	—	—	—	3			
	執行額		—	—	—				
	執行率(%)		—	—	—				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	セミナーでの議論を踏まえたサウジアラビアとの関係強化、若年層を中心とした日、サウジアラビア両国民の他方への関心の増大等			成果実績	回	—	—	—	1
				達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	日サウジアラビア双方のセミナー参加(希望)者数、セミナーでの議論の記録			活動実績 (当初見込み)		—	—	—	(1)
単位当たりコスト	3(百万円/1会合)			算出根拠	予算額/会合予定回数				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	その他		3						
	計		3						

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国 費 投 入 の 必 要 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	我が国のエネルギー安全保障にとって極めて重要なサウジアラビアとの関係を長期的に強化するものであり国民の関心も高いと考えられる。サウジアラビア側カウンターパートと調整して準備し、実施する本セミナーは、地方自治体や民間等では実施できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			－	サウジアラビア側参加者を招へいするために我が方が負担するのは、本邦における宿泊料、食事代、車借り上げ代等に限っており、渡航費はサウジアラビア側のカウンターパート（青年福祉庁）側が負担することとなり、日本側の一時的な負担によって開催されるものではない。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			－		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			－		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			－		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			－		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			－		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			－		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			－		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 （役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			－		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	現時点において、本件セミナーを実施していないため、執行面において明らかになった課題等は特にはない。実施に当たっては、コスト削減に努めながら、有益な議論がなされるように開催内容の工夫を行う。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年		平成24年	新25-31

個別事業名： サウジアラビアとの政策対話セミナー

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

個別事業名： サウジアラビアとの政策対話セミナー

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名： サウジアラビアとの政策対話セミナー

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					